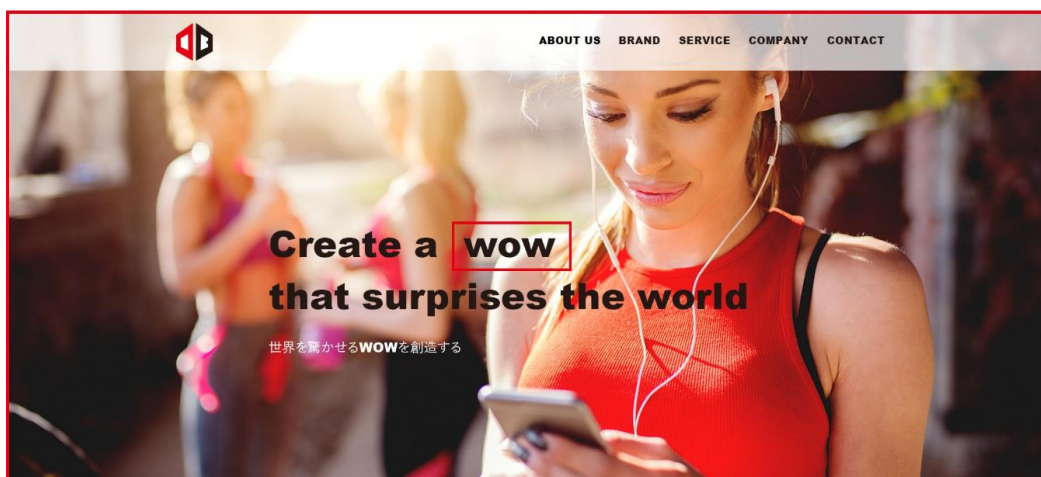


2019年11月26日

ヤギ、ヘルスケアベンチャーの株式会社 Dream box の全株式を取得 ～次世代ヘルステック商材の開発を目指す～

繊維専門商社の株式会社ヤギ（本社：大阪府大阪市、代表取締役：八木 隆夫、以下、「ヤギ」）は、本日付で、株式会社 Dream box（本社：福岡県福岡市、代表取締役：松永 高德、以下、「ドリームボックス社」）の全株式を取得し、グループ会社化する手続きを完了しました。



今回の株式取得により、中期経営計画の重点方針である「新領域への挑戦」に向けて取り組みを強化していきます。

1. 背景・目的

2018年に設立したドリームボックス社は、「フィットネス物販」、「健康サブスクリプション」、「パーソナル健康管理アプリ開発」、「デジタルマーケティング支援事業」を展開している九州発のヘルスケアベンチャー企業です。2020年度から様々な健康・フィットネス領域の事業を段階的に開始します。下記の中核事業を通して、個人の健康データを収集・分析し、新しい健康生活の付加価値提案に取り組む予定です。

➤ フィットネス物販

国内の健康市場において、競争優位性の高いフィットネス商材を開発及び独占販売を実施

➤ 健康サブスクリプション

月額課金制でユーザーが対象商品の中から健康食品や美容品の販売を毎月指定数選び放題という新しい健康販売サービスを実施

➤ パーソナル健康管理アプリ

健康データの蓄積を主軸とした新しい個人の健康管理アプリを開発の上、様々な事業体との連携を実施

ヤギは繊維業界のリーディングカンパニーを目指し、幅広い分野（原料・テキスタイル・繊維二次製品・ブランドビジネス）において独自の企画提案力と高品質なもの作りに携わってきました。中期経営計画「SPARKS 2020」においては、従来の繊維領域にとどまらない新しいライフスタイルの提案など、オンリーワンの商材とサービスの開発・展開に取り組んでいます。

ヤギは、ドリームボックス社が開発する「健康データプラットフォーム」により、ヘルスケア領域での商材・サービス開発と、B2C 事業のシナジー強化ができると考え、同社の全株式の取得に至りました。

2. 今後の展開について

新事業領域の強化に向けて、以下を重点施策として取り組むための体制強化を図ります。

少子高齢化、平均寿命の長寿化、生活習慣病の蔓延といった時代背景の中で、予防・健康管理サービスの充実と、生活の質の向上による健康寿命の延伸が求められています。そこで、ドリームボックス社が開発を進めている健康データプラットフォームを、当社グループが展開する様々な事業と接続させることで、新領域事業の拡大を目指します。

➤ BtoB 事業から BtoC 事業への事業領域拡大

ドリームボックス社が展開予定の様々な最終消費者向けのサービスや直販モデルを通して、顧客データベースの取得から始まる BtoC 事業へ本格着手する。

➤ デジタルトランスフォーメーションの積極展開

ドリームボックス社が持つ「EC プロデュース」「IT ソリューション」「デジタルマーケティング」の機能を当社グループの様々なビジネスに組み込むことで、今までになかった新しいデジタル領域の事業価値創出を目指す。

➤ 次世代ヘルステック商材の開発・販売強化

2020 年本格販売予定の EMS スーツをはじめとして、ドリームボックス社が様々なヘルステックアパレルを企画販売していく中で、繊維商社としてのテキスタイル開発・アパレル製造の知見を組み合わせて、高品質な次世代ヘルステック商材の開発を目指す。

3. 株式会社 Dream box の概要

社名： 株式会社 Dream box

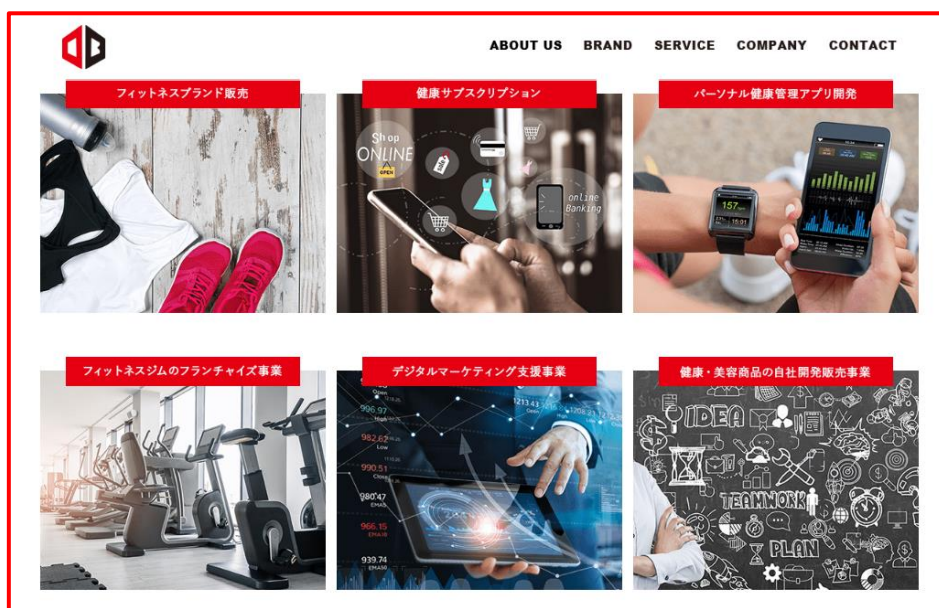
設立年月日： 2018 年 6 月

代表者： 松永 高德

所在地： 福岡県福岡市南区向野 2 丁目 2-1 コルソ大橋 2F

事業内容：
・フィットネスブランド販売
・健康サブスクリプション
・パーソナル健康管理アプリ開発
・フィットネスジムのフランチャイズ事業

- ・デジタルマーケティング支援事業
- ・健康/美容商品の自社開発販売事業



URL: <https://www.dream-box.co.jp/>

4. 今後の見通し

本件が当社業績に与える影響は軽微であります。今後、業績に重要な影響を与える見込みが生じた場合は、その内容を速やかに開示いたします。

以 上

<本件に関する問い合わせ先>
 株式会社ヤギ グループ経営企画部 経営企画グループ 担当：大西
 TEL：06-6266-7332 / Email：onishihiroki@yaginet.jp